



令和 5 年 6 月 5 日
令和 5 年度学校だより NO.10③
加古川市立平荘小学校

しつけ 躰（しつけ）の三原則



6月の生活目標は、『トイレのスリッパをそろえてぬごう』です。
スリッパや靴をそろえるといえば、『躰（しつけ）』という言葉が頭をよぎります。
『躰（しつけ）』と言えば、国民教育の父と言われる教育哲学者の森信三氏の『躰の三原則』を想起します。

『躰の三原則』とは、『あいさつ』『返事』『はきもの』の三つです。『躰（しつけ）』を漢字で表記すると、「美」しい所作が「身」に付くと書きます。

『躰（しつけ）』を言い換えれば、礼儀・作法の習慣化です。

礼儀・作法は、お互いが気持ちよく生活するための思いやりの所作です。お互いが気持ちよく生活できると、自分も周りの人も幸せに生活することができます。

そのために、大人は、子どもたちに、人を大切にする『思いやりの所作（躰）』を教えるのです。

【躰（しつけ）の三原則<森信三>】

- 1 気持ちのよいあいさつをします。
あいさつには、「おはよう（ございます）」「お願いします」「ありがとう（ございます）」「失礼します」「いただきます」「ごちそうさまでした」「こんにちは」「さようなら」等があります。
- 2 「はい」と大きな声で返事をします。
- 3 履き物をそろえ、席を立ったら椅子をいれます。
トイレのスリッパや靴箱のくつ等をそろえます。

これらの三つの躰を「つ」のつくうちに身につけておくことが肝要だと提唱されています。「つ」のつくうちとは、「1つ（ひとつ）、2つ（ふたつ）、3つ（みっつ）、・・・8つ（やっつ）、9つ（ここのつ）」つまり、9歳までにということです。そして、この三原則を言葉で伝え、子どもにさせるだけでなく、親（大人）自らが率先して行動で示すことが大切だと提唱されています。

躰が身につくと、素直な気持ちになり、心の受け入れ態勢が整うと言われています。躰が身に付いた子どもは、意欲的に学び、吸収し、伸びていくことができるとも言われています。

躰は、「し続ける」とも言います。学校と家庭・地域が連携しながら、取り組んでいきたいと思ひます。子どもたちが人を大切にして気持ちよく生活できるよう、『生きる力』を付けていきたいと思ひます。ご協力をよろしくお願いいたします。

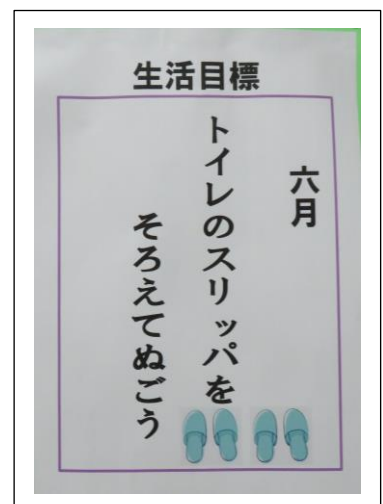
6月の生活目標

トイレは、みんなが使う所です。自分も周りの人も気持ちよく使いたいです。

トイレを使用する時に、スリッパがそろっているととても履きやすく気持ちがよいです。逆に、スリッパがそろっていないと、急いでいる時になかなかスリッパを履くことができず大変困ります。自分の次にトイレを使う人が、気持ちよく使えるように、やさしい気持ちでスリッパをそろえたいですね。

また、スリッパをそろえることは、次にトイレを使う人のためだけでなく、自分も気持ちよくなります。進んでスリッパをそろえてほしいと思ひます。

トイレのスリッパの状態を見ると心の状態がわかります。自分のためにも、周りの人のためにも靴をそろえることを意識しながら、気持ちの良い環境を作りましょう。



はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう

<<長野市円福寺の住職・藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんの言葉>>

運動会 保護者アンケートより（一部抜粋）

- とても良かったです。
- こじんまりとしてはいるものの、あたたかく皆の思いのつまった運動会でした。
そして、来られていたこども園の園長先生が、いろいろな子に話しかけられている様子や玉入れに参加する皆さんの姿を見て、地域の絆の大切さを感じました。
これでこの学校の運動会は最後という、中々体験することのない日、ドローンが飛び、最後は地域の人と一緒に写真を撮り…少し寂しいですが、貴重な体験ですね。
- 運動会当日は天候にも恵まれ、子どもたちの楽しそうな姿を家族皆で応援させて頂きました。最終学年でありまた閉校という寂しさも含め、度々涙が溢れそうになりました。新入生たちの明るく元気いっぱいの笑顔を見聞き清々しい気持ちで胸が一杯になりました。
もっと活躍する姿が見たかった、応援をいっぱいしたかった、思い出を共有したかった、色んな思い出もありますが大きな事故もなく無事終わり児童もほっとしたと思います。短い準備期間でしたが素敵な思い出をありがとうございました。
- それぞれの表現を楽しませてもらいました。
特に高学年の表現は閉校への思いを強く感じる演技で素敵でした。玉入れも、一緒に楽しませてもらいました！いろいろな企画をして頂きありがとうございました。
- 本日の運動会お疲れさまでした。
人数制限も無く観覧できるようになり、多数の人たちに見て貰うことで子どもたちも張り切って演技していました。閉校事業の一環である玉入れも保護者、地域が一体になり、何十年ぶりの競技に笑顔溢れ盛り上がったことは非情に良かったと思います。全体での記念撮影も思い出に残ることと思います。
企画運営共に良い運動会でした。併せてPTAの皆さんもテントの設営、車両誘導、撤収に気持ち良く協力して貰えて無事終了できて良かったと思います。
- 最後の運動会、いいお天気で人数制限もなく、祖父母も見に来てよかった。子どもたちもとても楽しそうでした。
久しぶりに玉入れしましたが意外と難しく…（笑）楽しかったです。
- 良かったです。事前にダンスをする場所がわかり、探しやすかった。
- お天気も良く子どもたちの元気な姿を見る事ができてとても良かったです。人数制限もなくお世話になっている地域の方々も来てくださり、温かい思い出に残る運動会だったと思います。短期間にどの学年もダンスをマスターし、なかなか見応えがありました。毎日家でも練習し楽しみにしているようでした。5・6年生はみんな進んで片付けをし、PTAの役員の方もそうでない方もみんな協力できる良い環境なんだなぁ～と思いました。今日参加していたみんなが平荘小学校を大切に思っている事がよくわかりました。
玉入れもとても楽しかったです。
- いつもと違う子どもの姿が見られて良かったです。
- 家でもダンスの練習をしていたので本番を楽しみにしていました。子どもたちの一生懸命な姿に感動しました。
- 子どもたちが、楽しそうでした。
- 感動をありがとうございました。
- とても楽しかったです。最後の運動会なのでお昼までだったのは残念でしたが、入場制限もなく賑わっていたので、子どもたちもやる気に満ちていて楽しそうに見ていて嬉しかったです。最後にみんなで写真が撮れたのも良い記念になったなと思います。ありがとうございました。
- コンパクトな内容と時間設定ながら見応えがあり、玉入れも老若男女楽しめて、ほっこりといい運動会でした。特に最後の写真が記念となりました。ありがとうございました。
- すごく良かったです。
- 子どもたちの笑顔と一人ひとりが輝いていた運動会でした。
- 子どもたちの頑張りが見えた運動会でした。かわいい1、2年生のダンス、キリッとした3、4年生のソーラン、ダンスやフラッグ、縄跳びを取り混ぜた演技の5、6年生、とそれぞれ見ごたえがありました。
地域の方や保護者参加の玉入れも楽しかったです。
コロナ以降、運動会も規模を縮小しての開催ですが、短い時間に内容がギュッとまとまったとてもいい運動会だと思いました。ご指導くださる先生方にはいつも感謝しかありません。ありがとうございました。
- 先生方の準備やご指導ありがとうございます。また5、6年生やPTA役員さんの前日準備や当日の誘導などありがとうございました。6年生は、競技以外にもそれぞれ自分の役割をしっかりとやっていてすばらしかったです。毎年先生の選曲は素敵だなと思います。子どもたちはもちろん、保護者にとっても思い出の曲になります。